

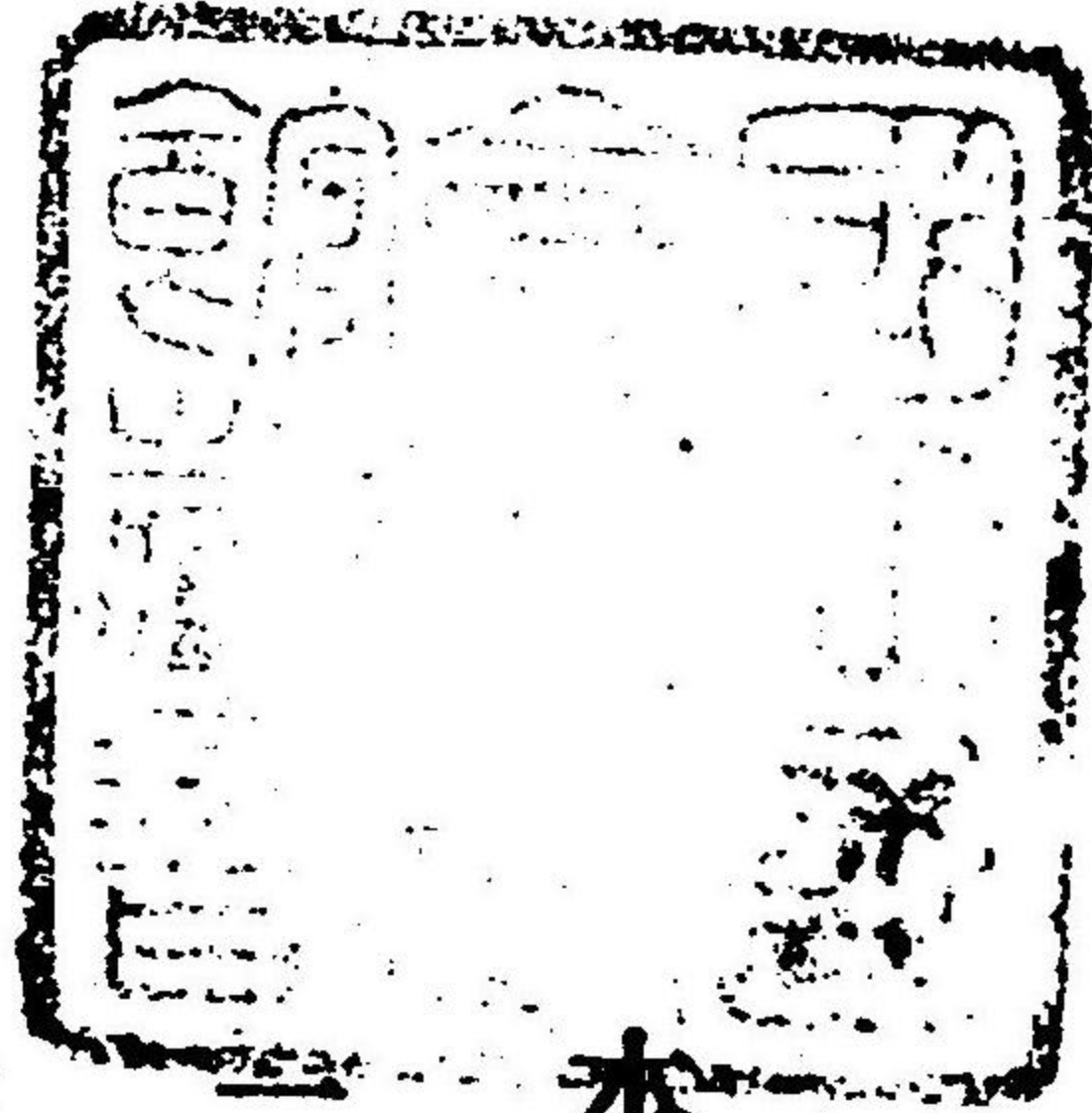
拓殖局報第十八

北清ニ於ケル諸外國ノ教育上ノ  
效果ニ關スル調査

拓殖局

3912

372.22  
H998z



本編ハ文學士樋口秀雄氏ノ調査ニ成ル報告書ノ  
一部ナリ昨秋氏カ北清ヲ巡遊シタル際本局ノ囑  
托ニ依リ特ニ調査シタル所ニ係ル報告ノ儘不取  
敢附印刷

明治四十四年六月

拓殖局

39127

## 北清ニ於ケル諸外國ノ教育上ノ效果ニ關スル調査

教育ニヨリテ諸外國カ清國人及ヒ清國ニ對シテ與ヘタル影響ニ關シテハ、之ヲ國外ニ於ケル教育ト國內ニ於ケル教育トノ二點ニ區別シテ考察スルヲ要ス。國外ニ於ケル教育トハ各國ニ於ケル清國留學生教育ニシテ、國內ニ於ケル教育トハ諸外國人カ清國ニ於テ清國人ニ施セル教育ヲ云フ。國內ニ於ケル教育ハ更ニ分ツテ傳道宣教ノ附帶事業トシテ、主トシテ外國ノ宣教使ニヨリテ施サルル教育ト、單ニ清國ノ文化開發及ヒ清國人ノ誘導ヲ目的トスル純粹ノ教育トノ二者ニ區別スルヲ得ベシ。現在ニ於テハ此二者ノ中後者ハ漸ク其緒ニ就ケルニ止マリ、ソノ效果ハ未ダ明ナラス。特ニ北京ヲ中心トセル北清ニ於テ然リ。今回ノ調査ハ、北京天津ニ於ケル各國留學畢業者ノ成績并ニ同地方ニ於ケル歐米宣教使ニヨリテ施サル、教育事業ノ成績ヲ研究スルヲ目的トス。

### 一 各國留學畢業者ノ學業成績

清國カ自國ノ青年ヲ留學生トシテ國外ニ派出セシメシハ、光緒二十一年（我カ明治二十八年）ノ頃

ヲ以テ始トス。以降今日ニ至ルマテ歐米各國及ヒ日本へ留學シテ、各國官公立ノ學校ヲ畢業シタルモノ、總數ハ約一萬二千餘名ナリ稱セラル。尤モ此中多數ハ私費又ハ地方公費生タルヲ以テ、ソノ精確ナル數ハ明ナラズト雖、清國學部當局者カホ、確實ナルヘシトスル資料ニヨリテ推算スルニ、約一萬ノ算數ハ殆ント信シ得ヘキカ如シ。而シテ此一萬人中、日本ニ留學シタルモノソノ最大部分ヲ占メ、其數九千人以上ナルヘシト概算セラル。

然ルニヨノ九千人以上ノ多數留東畢業者中、專門學校程度以上ノ學校ニ在學シ、日本學生ニ伍シテ教授ヲ受ケ、日本語ニ通シ、比較的日本人ノ國情ヲ解スルモノハ、三分ノ一以下ニ過キサコトハ、日本ノ各學校ノ報告ニ基ツケル留學生監督處(清國公使館内)及ヒ清國學部ノ調査ニヨリテ明ナリ。サレハツノ以外、約六千以上ト稱セラル、留東畢業生ナルモノハ、皆短期ノ留學生ニシテ、速成的ニ修業シタルモノト見ルヘシ。尤モ此中別ニ日本語ヲ本位トセル普通科ヲ修了シ、未ダ專門教育ヲ受クルニ及ハスシテ事情ノ爲メ歸國セルモノアレトモ、其數極メテ少ク且ツツノ留學年限モ亦二年以内ナルカ故ニ速成者トノ間ニ差別ヲ設ケテ考察スルノ必要ナキニ似タリ。日本諸學校ニ於ケル速成教授ハ長キモノ一ケ年半、短キハ六ケ月ヲ普通トシ、甚シキハ三ケ月以内ニ修了セシムル講習會ノ如キモノアリ。教科ノ種類ニ至テモ、或ハ石鹼製造或ハ鉛筆製造ノ如キ、或ハ手工、造花、簿記ノ

如キ、單ニ技術上ノ徒弟養成ニ過キササルモノアリテ、ソノ修了者ノ如キハ留學生ノ名ヲ値セサルモノ極メテ多シ。シカモ謂ユル速成的留東畢業生中コノ種類ノモノ頗ル多シ。マトヒコノ類ヲ除クトモ、速成學生ノ最多數ハ九ケ月又ハ一ケ年ノ速成班ヲ修了セシニ過キササルモノ大多數ヲ占ムルハ、之ヲ各學校ノ報告ニ徴シテ爭フ可カラス。此等多數ノ速成學生ハ、學術上ニ於テモ造詣甚ダ淺ク、日本ノ國情等ニ至テハ殆ント解セサルモノ比々概ネコレナリ。速成卒業生中稍好果ヲ收ムルハ師範科及ヒ警務科ノ一年以上ノ教科ヲ修了セル少數者ニ止マルカ如シ。

次に留西畢業生ト稱セラル、モノ、中ニモ、實ハ香港ニ於ケル各種學校ノ卒業生、布哇ニ於ケル小學校及ヒ各種學校ノ卒業生、并ニ西部米國ニ於ケル私立學校ノ卒業生ト稱スレトモ、留學ノ年限、語學ノ智識ヨリ判斷シテ眞ノ留學生ト見做スヘカラサルモノ、多數ヲ包含スルカ故ニ、此等ヲ控除シテ、日本ニ於ケル專門學校程度以上ノ學校ヲ卒業セルモノニ至テハ全數ノ二分ノ一以下ナルヘシトハ、清國ノ學務ニ關係アル人々ノ說ニ於テホ、一致セル所ナリ。

以上述フル所ニヨリテ概算スレハ左表ノ如シ。

#### 外國留學畢業生概算表

日本 總數約九千人以上

内譯 長期留學生 約三千以内

速成留學生 約六千以上

歐米 總數約五百人内外

内譯 長期留學生 約二百以内

速成留學生 約三百内外

然ルニナホコノ概算ニ就テ注意スヘキモノアリ。自ラ留學畢業生ト稱スレトモ、必シモ文憑(卒業證書)ヲ有セサルモノアリ、或ハ文憑ヲ有スレトモ、ソノ正確ヲ保シ難キモノ及ヒ一人ニシテ二ヶ所以上ノ文憑ヲ得タル爲メ、重複シテ計上セラレタルモノアルコト是ナリ。後ノ二者ニ屬スルモノハ特ニ日本留學ノモノニ多シ。ソノ實例ヲ舉グレハ、明治三十七八年ノ頃、東京ニ於ケル清國留學生ノ數一萬ヲ超ユト傳ヘラレタル當時、清國留學生監督及ヒ我カ文部省カ表面上ノ報告ニ基ツキ、略ホ同様ノ事實ヲ認メテ世ニ公示セシカ、各學堂中重ナルモノニ就テソノ在留學生名簿ヲ對照スルニ及ヒテ重複セルモノ甚タ多ク約八千ヲ超エサル可キヲ明カニセシコトアリシカ如キ是ナリ。コレ清國留學生カ一人ニシテ同時ニ二ヶ所以上ニ在學スルモノ甚タ多ク、特ニ法律專攻者カ、速成的警務科ヲ兼修シ、或ハ專門學ノ修學者カ、同時ニ日本語及ヒ英語等ノ兼修シタルモノ多カリシニ依

ルナリ。今回北京ニ於テモ現ニ中央政府ノ官吏中、高等商業學校卒業生トシテ學部ノ試験ニ登第シテ採用セラレタルモノニシテ、同時ニ早稻田、明治等ノ私立大學ノ商科卒業生タルモノ數名アルヲ明ニシ得タリ。而シテ此等ノ人々ハ深ク自ラソノ事實ヲ同僚ニスラ秘スルヲ見ル。コレ學部ノ試験ニ關シテ一種ノ内規アルヲ以テ、ソノ必要上自ラ此ニ至レルナリ。又某々學校ノ卒業生ト稱シ、文憑ヲ有スト稱セラル、モノニシテ、ソノ學校ノ卒業生名簿ニ姓名ノ存セサルモノ少カラサリキ。此類ノ謂ユル留學畢業生中更ニ二類ノ別アリ。一ハ文憑ヲ有セスシテコレアリト稱スル狡手段ヲ弄スルモノニシテ、他ハ學校又ハソノ事務員ノ不正手段ニヨリ、文憑ヲ賣リ又ハ偽造文憑ヲ發給セシニヨルモノ是ナリ。

以上述フルカ如キ事情アルヲ以テ、サキニ掲ケタル概算ハ、更ニ一割乃至二割ヲ減算スルヲ以テ一層眞數ニ近ツクヘント察セラル。若シ二割減トセハ日本留學畢業生約七千人、内長期留學者約二千四百人、眞ニ歐米留學畢業者ト見做スヘキモノ約百五十人ニシテ彼ノ一、ニ對スル我ハ十六ノ割合トナル。

サテコノ二千五百餘名ノ東西留學生中、最初派出セラレシモノハ、歸國當時未ダ學部ノ設立ナク、又ハソノ試験制度定マラサリシヲ以テ、ソノ多クハ無試験ニテ官吏ニ登用セラレ、概ネ中央政府及ヒ

直隸總督府ニ重任セララル。就中親任官ハ未タ一人ニ過キス。日本留學畢業者ニシテ、今ノ外務部左侍郎曹汝霖氏コレナリ。勅任及ヒ同待遇ハ中央及ヒ直隸ヲ合シテ九人ツノ中日本留學出身ハ七名ノ多キヲ占ム。尤モ此等ノ人々以外ニ唐紹怡氏外二三ノ大官ニシテ歐米ニ留學セシ人アレトモ、コレ等ハ清國カ未タ留學生ヲ國外ニ派遣セサリシ以前、單ニ自己ノ發意ニテ國外ニ筴ヲ負ヒシモノニ過キササルヲ以テ、今ハ姑ラク之ヲ留學生中ニ加算セス。

東西留學畢業者中、光緒三十二年(明治三十九年)清國學部カ考試ヲ設ケシ以來、ソノ考試ヲ經テ登第セシモノ總計八百七十七人即チ長期留學生中約三分ノ一ハ受験ノ上合格シタル割合ナリトス。左ニ過去五年間ニ於ケル學部考試登第者ノ留學國別比較表ヲ掲ケム。

外國留學出身考試登第者國別統計表

國別	第一回考試 光緒三十二年	第二回考試 光緒三十三年	第三回考試 光緒三十四年	第四回考試 宣統元年	第五回考試 宣統二年	總計
日本	一三(三〇)	二五(三三)	九八(七七)	二四二(三九)	四一二(三三)	七九〇(六三)
米國	一四(三三)	一二(四)	三(三)	八(三)	三三(二七)	五九(三三)
英國	二(二)	—	—	四(四)	八(六)	一四(三)

國別	第一回考試 光緒三十二年	第二回考試 光緒三十三年	第三回考試 光緒三十四年	第四回考試 宣統元年	第五回考試 宣統二年	總計
露國	—	—	—	—	—	—
佛國	—	—	—	—	—	—
獨乙	—	—	—	—	—	—
比耳義	—	—	—	—	—	—
年度合計	三〇(三三)	三七(六)	一〇五(九四)	二五五(三)	四五〇(六〇)	八七七(七〇)

備考 括弧内ニ記セル數字ハ前者ハ進士後者ハ舉人ヲ授ケラレタルモノ、數ヲ示ス。進士ハ評點平均八〇點以上ノモノトス。

右ノ表ニヨリテ比較スルニ考試登第者中歐米出身者ト日本出身者トノ比ハ

總數ニ於テハ歐米ノ一、一ニ對スル日本ノ九(一一九)

進士ニ在テハ歐米ノ一、一ニ對スル日本ノ二(一一二)

舉人ニ在テハ歐米ノ一、一ニ對スル日本ノ一、六(一一一六)

ノ概數ヲ得ヘシ。即チ舉人ニ於ケル比率ハ留學畢業者ノ總數ニ於ケル比率ト同一ノ割合ナレトモ、之ニ反シテ平均點八十以上ヲ得テ進士ヲ授ケラレタル優等者ノ比率ニ於テハ、歐米出身者ノ一一ニ對スル日本出身者ハ僅カニ一一ニ過キス。從ツテ合格者ノ總數ニ於テモ一對九ノ比率ニ止マル。故ニ此結果ノミヲ見テ皮相ノ判斷ヲ下スモノ、學業修得ノ成果ニ關シテ、歐米留學生カ日本留學生ニ優

レリト爲スモノナキニ非サルヘシト雖、事實ニ於テハ此數字上ノ比ハ成績ノ優劣ヲ示スニ足ラザル伏在セル事情ノ存在スルアリ。スナハチ眞ニ成績ヲ判センカ爲ニハ次ノ數箇ノ事情ヲ照合スルノ極メテ必要ナルヲ見ル。

伏在セル事情トハ何ソト云フニ、情實ノ纏綿セル種々ノ事情アリト雖、ツノ重ナルモノハ三アリ。

- 一 學部ノ考試ニ於ケル採點上ニ存スル學校點
- 二 同上學科點

三 東西留學者ノ修業年限ノ長短

コレナリ。以下逐次之ヲ述ヘム。

學部ノ考試ハ光緒三十二年即チ明治二十九年ヲ以テ始メトス。ツノ第一回ノ試験ニ於テハ日本留學出身者ハ總數三十二對スル十二人ニシテ、特ニ一人ノ進士ヲモ出スコト能ハサリシカ、コノ第一回試験ニ於テハ試験委員カ採點ニ關シテ、特ニ日本留學生ニ對シテ酷ナル標準ノ下ニ成績ノ降下ヲ下サシメシ事情アリテ、留學生ノ反抗トナリ、張總督ノ抗議アリテ、委員ノ間ニ紛擾ヲ來セシコトアリシカ、採點上ニ於ケル學校點ノ如キハ、既ニ此當時ヨリ存シ、昨今ニ至リ漸ク寬トナリシニ似タレト、ナホ日本留學生出身ノ受験者ニ對シテハ非常ナル苦痛ヲ與ヘ、延イテ日本留學出身ノ受験者ノ成

績ヲシテ事實ヨリ數等ヲ減セシムル結果ヲ呈セリ。此採點標準ハ學部當局ノ秘密ニセル所ナレト、ナホ一般受験者間ニハ公然ノ秘密トシテ認識セラレ。今昨年ノ採點評準ニ關シテ正確ナルヘシト傳ヘラル、モノ左ノ如シ。

- 一 歐米ノ官公立大學出身者 九十點
- 二 日本ノ官立大學及ヒ歐米ノ私立大學出身者 八十點
- 三 日本官立專門學校及ヒ私立大學正科程度出身者 七十點
- 四 日本私立大學專科出身者 六十點

コノ學校點ナルモノハ試験成績得點平均數ト合シテ二分セラレ、モノナリ。果シテ然ラハ歐米官公立大學出身者ハ試験成績得點七十以上ナレハ進士ヲ得、同上私立出身者モ八十以上ナレハ進士ナリ。之ニ反シテ日本官立大學出身者スラ八十以上ノ得點ナクハ進士タルヲ得ス。私立大學出身者ハ正科(豫科ヲ經タルモノ)ト雖九十點、專科出身者ハ百點即チ滿點ヲ得ルニ非スハ進士タル能ハサルナリ。サレハ日本留學出身ニシテ進士タルモノハ學業成績極メテ優等ナルモノニシテ、特ニ私立出身ニ關シテ然リ。此事情ヲ參酌シテ推察スレハ日本出身ノ學生ニシテ舉人タルモノト雖、ツノ上位ニ位スルモノハ學術ニ對テハ進士以上ノ資格アル優等生ナリト見做シ得ヘシ。コレ進士

ヲ授ケラレシモノ、數ニ於テ歐米出身者ニ對スル日本出身者ノ比率カ實カニ少キ大原因ナルカ如シ。此事實ハ學部カ公表セザルヲ以テ公然抗議スルノ餘地ナシト雖、日本ノ教育ニ對スル一種ノ侮蔑ヲナスンハアラス。

此學校點ノ外ニ更ニ採點上ニ影響ヲ及ホスモノハ學科點ナリ。ツノ標準左ノ如シ。

一 工商農醫理科等ニ關スル謂ニル實學ヲ修メシモノハ十點ノ加算。

二 日本留學生中普通學ノ卒業證書ヲ有スルモノハ十點ノ加算。

右ノ中第一項ハ一般ニ適用セラレ、第二項ハ主トシテ日本私立專門學校專科出身者ニノミ適用セラル、モノトス。サレハ第二項ハ多大ノ關係ナキモ、一般留學出身者ニ取リテハ、第一項ニ適當スルモノハ政法科ノ出身者ヨリハ成績ニ於テ利益アリテ、特ニ日本留學者中最多數ヲ占ムル私立大學政法科出身者ノ進士ニ入ル能ハサル一要素ヲ爲セリ。此事實ハ學部當事者ノ秘密トセルニ係ラス、進士登第者中工商農理科ノ出身者カ、數ニ於テモ多ク、序ニ於テモ上位ヲ占ムルヲ見テモ爭フ可カラス。且ツ進士登第者中歐米出身者カ概ネ首位ヲ占ムルノ事實ハ、前ノ學校點ト此學科點トノ結果著シキ事ヲ證明スルモノ、如レ。

次ニ歐米留學者ハ、ツノ留學年限ハ概シテ日本留學生ヨリハ長シ。コレ一ハ歐米ニ在テハ日本ト異

リテ、通譯教授ニヨリ修學スルノ設備ナカリシニヨリ、一ハ全ク語系文字ヲ異ニスル歐米語ヲ習得スルノ困難ナリシニヨルモノ、如シ。尤モ日本語ノ習熟ハ歐米語ノツレヨリハ困難ナリトノ說モアレト、口語及ヒ會話ニ於テハ全ク然リト雖、讀書力ノ養成ニ至テハ歐米ノ書物ハ到底日本ノ書物ノ意ヲ諒シ易キト同一ノ談ニ非ス。從テ全般ヨリ評スレハ歐米ニ於ケル修學ハ日本ニ於ケルヨリハ實カニ困難ナリトス。是ヲ以テ最初ノ日本留學者等カ概ネ六年乃至七年ヲ以テ官立大學若ハ私立大學ヲ畢業セシト異リ、歐米留學者ハ平均十一年ヲ費セシカ如キハツノ實例ナリ。此點ヲ併セ考フルニ及ヒテハ日本留學生ノ短日月ノ修學ハ優ニ歐米留學生ノ長年月ニ拮抗シ得ルモノニシテ成績ニ於テ却テ優位ニアリト云フヘシ。

以上述ヘタル三條ノ主タル事情ヲ考慮スルトキハ學部ノ考試ノ結果ニ現ハレタル、數字上ノ比例ハ、東西留學生教育ノ成果ヲ示スニ足ラスシテ、事實上ニ於テハ日本ノ清國留學生教育ハ、少クトモ學業ノ成績ニ於テ、遙カニ歐米ニ於ケル夫ヨリモ優レルコトハ明ナリトス。

次ニ留學生ノ大多數ヲ占ムル日本ニ於テ、彼等カ如何ナル種類ノ學校ヲ畢業シタルカヲ考察スルハ、留學界ノ狀景及ヒ傾向ヲ觀ルカ爲ニ極メテ便利ナルヲ以テ、左ニ之ヲ表示スヘシ。



日本留學出身考試登第者校別統計表

學校別	第一回	第二回	第三回	第四回	第五回	總計
帝國大學	四	三	一三	二〇	二四	六四
高等師範			二	四	九	一五
高等商業	一	三	八	一〇	一八	四〇
高等工業	一	七	九	二二	四〇	七九
札幌農大		一			一	二
高等農林		一	一	五	五	一二
醫學專門		一	二	五	七	一五
早稻田大學	五	三	二六	五六	一〇四	一九四
中央大學	一	四	三	二二	二五	五六
法政大學			一四	三一	六六	一一一
明治大學			一四	三八	八〇	一四二

	日本大學	東洋大學	其他	合計
第一回	一	一	一	三
第二回	一	一	一	三
第三回	二	一	四	九
第四回	一一	一	六	一八
第五回	二〇	一	一二	三三
總計	三四	二	二四	七九

右ノ統計表中其他ト稱セルモノ、中ニハ東京物理學校、蠶業講習所、水産講習所、私立關西大學及ヒ  
 工藝ニ關スル官私立ノ二三ノ學校ヲ包含シ、主トシテ理工科及ヒツノ應用ニ關スル學科ニ屬ス。又  
 帝國大學卒業者中ニハ、理工科、醫科及ヒ東京帝國大學ノ農科出身者ヲ合シテ約半數ヲ占メ、早稻  
 田、中央及ヒ明治ノ三私立大學出身者中ニハ商科出身者少カラス、其數又年ト共ニ次第ニ増加ノ傾  
 向アリ。文科ニ關スル學科ニ在テハ帝國大學、高等師範、早稻田大學及ヒ東洋大學ノ出身者ヲ合ス  
 ルモ僅カニ八九名ニ過キス。而カモ各登第者ノ學科別必シモ明確ナリトハ云フ可カラサルニ似タ  
 リ。コレ清國學部ニ於テ這般ノ調査未タ完カラス、受験者亦ツノ便宜ニ隨ヒ多少專攻學科ト稱スル  
 モノヲ隨意ニ定メタル形蹟ノ認ムヘキモノアルヲ以テナリ。今大體ニ於テ正確ナルヘシト推定セ  
 ラル、所ニ隨ヒ、之カ統計ヲ試ムレハ即チ左ノ如シ。

日本留學出身考試登第者學科別統計表

學科別	第一回	第二回	第三回	第四回	第五回	總計
法律政治	七	九	五八	一三四	二八〇	四八八
文學科				二	四	六
理工科	二	八	一八	三四	六三	一二五
醫科	一	一	四	八	二	二五
農科			四	九	一三	二二
商科	一	三	一四	二五	四一	八四
合計	一三	二五	九八	二四二	四二二	七九〇

此統計ノ示ス所ニヨレハ政治法律ニ關スル專攻者最大數ナルカ、コレ新ニ法治國ヲラントスル清國ノ現狀カ要求セル自然ノ結果ナリ。之ニ次クモノハ理工科、次ハ商科ニシテ文科最モ少シ。此事實ハ理工科カ物質的文明開發ノ至要ノ學タリ、由來商業的民族タル支那人ノ趨向トシテ商科ニ赴クモノタルハ固ヨリナレトモ、他ノ一面ニ於テハ學部ノ方針カ理工科、商科及ヒ農科ノ如キ謂ユ

ル實學ヲ獎勵シ、考試探照上ニモ格別ノ恩典ヲ附與シテツヲ鼓勵セル事實ヲ反映スト云フヘシ。ヒトリ新文物ヲ移入シ國民ヲ開發センカ爲ニ尤モ必要ナル教育ノ知識等ハ、現下最モ切要ナル所ニシテ、ナホ未タ文科出身登第者ヲ見ルコト少キハ、些カ怪ムヘキニ似タレト、謂ユル師範科ナルモノニハ日本留學出身者中比較的多數ノ短期畢業者アリテ、普通(初等)教育ノ任ニ當リ、又法科出身ニシテ教育事業ニタツサハルモノ多キ事實、及ヒ高等教育ハナホ日人及ヒ外人ノ手ニ多ク委ネラレアル事實トヲ見ルトキハ、ソノ間ノ消息了解ニ苦マサルヘシ。加之謂ユル教育學ノ知識ソノモノヨリハ、各科ノ實質的知識ハサラニ必要ニシテ、又短期師範科ヲ修了セルモノハ未タ學部ノ考試ヲ受クルノ資格ナキモノ多キコト、及ヒ考試ヲ受ケサルモノ、全國ニ於テ勃興セル各數教育學堂ニ於テ採用セラル、ヲ妨ケサル事實モ亦此結果ヲ呈スル一因タルニ庶幾シ。(序ニ云フ、清國學部ノ諸般ノ調査未タ完全セス、統計ノ如キハ殆ント備ラサルヲ以テ、以上ノ諸表ハ學部ニ存スル考試登第者ノ原簿ニ就キテ知り得タル資料ニヨリ、予ノ作成スル所ニ係ル。但シ學部ヨリ得タル原簿ノ寫本未タ明瞭ヲ缺ク所ナキニ非サルヲ以テ、第一第二ノ表ニ就テハ、殆ント誤算ナキヲ保證シ得レトモ、第三ノ表ニ至テハ多少ノ錯誤ナキヲ斷言スルヲ得ス。サレト大體ノ趨勢ヲ示スニ於テハ誤ナカルヘシト信ス。)

次ニ歐米各國ニ留學セル考試登第者ニ關シテハ、唯在學々校名ヲ掲ケテツノ學科別ヲ明ニセサルカ故ニ、充分精確ナル算數上ノ統計ヲ得難シト雖、大體ノ傾向ニ於テハ、日本留學出身者ノソレト大同ニシテ、法政科ヲ最多數トシ、理工科、醫科等之ニ次クハ敢テ異ル所ナシ。

以上述ヘタル所ハ、留學生中學部ノ考試ニ登第セル八百餘名、即チ專門學校程度以上ノ學校ヲ畢業セル留學生ノ概算總數ノ約三分ノ一ニ當レル員數ニ就テ調査シ得タル所ナリ。然ラハ殘餘約二倍數ノ東西畢業者ニ關シテハ如何ト云フニ、ソノ精細ナルコトハモトヨリ探知シ得ヘカラス。蓋シ、此等ノ多クハ龐大ナル清國ノ各地方ニ散在シ、且ツ受験登第者ニ劣ラサル資格アルモノト雖、教育事業ニ關係スルモノハ固ヨリ、然ラサルモノモ各地ノ大官ニ對スル特別ノ關係ニヨリテ特別ニ任用セラレ、各ツノ地位ヲ得ルヲ以テ、學業成績ヲ這般登第者ニ比較スルノ便ヲ得サルカ爲ナリ。

## 二 北清ニ於ケル各國留學生ノ地位及ヒ實務上ノ勢力

次ニ北清ニ於ケル各國留學生ノ地位ヲ見ルニ、中央政府ノ官吏トシテハ概ネ奏任以下ノ地位ニアリテ、極メテ少數ノ丞、參議ノ外ハ、郎中主事（我カ參事官及ヒ書記官トホ、同シ）及ヒ同相當官等ノ地位ニアルモノ最モ多シ。就中數ノ多數ヨリ云ヘハ勿論日本留學出身者ハツノ上位ニアリ。最近

ノ調査ニヨレハ日本留學出身者ノ中央政官ニアルモノ侍郎（親任）一人、丞一人、參議二人、郎中主事又ハ相等官九十七名其他小官合セテ二百三十餘名ニシテ、ソノ中學部考試登第者一百餘人ナリ。即チ日本留學出身登第者中ノ約八分ノ一以上ハ中央政府ノ官吏タリ。之ニ對シテ歐米留學出身登第者八十七名中、中央政府ニアルモノ十一名ニシテ、亦登第者ノ約八分ノ一ヲ占メ、其他八名ノ考試ヲ經サル歐米留學出身者ヲ有ス。若シソレ未タ本官タラサル、雇又ハ屬官程度ノモノヲ合算スレハ、中央政府ニ於ケル留學生出身者ハ殆ント二百名以上ナルヘント傳ヘラル。

此等東西留學出身者ハ概シテ地位未タ高カラス、ソノ數ニ於テモ奏任本官一百五十名内外ニシテ、中央政府ノ官吏中十二分ノ一以下ニ過キスト雖、其中一人ニシテ三四ノ官職ニ兼任スルモノ少カラス、且ツ地位低キニ拘ラス、各部各官衙ノ實務ニ關シテハ、概ネ此等年少官吏ノ手ニヨリテ扱ハル、カ故ニ、ソノ員數ノ比較ハ未タ實務上ニ於ケル勢力ノ輕重ヲ表示スルモノニハ非ス。例ヘハ西太后崩御ニ次テ起リシ政變ノ如キ、當時内外人ノ目ヲ聳エシメシ所ニシテ、多クハ之ヲ攝政王ノ英斷及ヒ少數大官ノ密議ニ出ツト考フルカ如クナレトモ、而カモツノ裏面ニ於テハ、此等少數大官ノ帷幄ニ參シテ劃策セシモノハ少壯官吏中ノ果斷家ニシテ、ソノ多クハ留學出身者タリシハ疑フ可カラサルカ如シ。特ニ法律館、憲政編譯館、資政院及ヒ法部ニ關スル諸官衙等ニテ立法及ヒ司法ニ

關係アル方面ニ於テハ留學生出身者ノ勢力ハツノ中堅タル觀アリ。特ニ日本留學出身者ノ勢力尤モ著キモノアリ。

其原因ヲ考フルニ、重ナルモノニアリ。清國ト歐米諸國トハ文明ノ源流ヲ異ニシ、風俗慣習ニ於テ非常ノ相異アルカ故ニ、歴史、國情及ヒ文明ノ形式ニ基礎ヲ置クコト深キ法政ノ學ニ於テハ、彼ヲ移シテ直チニ此ニ施スヘクモアラス。然ルニ日清ノ間ニアリテハ、慣習風俗ニ於テコソ多少ノ相異ハアレ、ツノ差ハ到底歐米ト清國トノ大差ト同日ニ談スヘキニアラス、加之文明ノ源流ハ殆ント同一ナルカ故ニ、彼我ノ融通極メテ容易ナリ。コレツノ一因ナリ。次ニ留學ノ年限ハ歐米留學者ノ方、日本留學者ニ比シテ多少長レト雖、文字ノ全ク相違セル歐語ト大體ニ於テ清國ト同シキ日本語トヲ比較スレハ、口語ノ運用ハトモアレ、讀書力ノ得易キニ於テハ歐米ハ到底日本ノ敵ニ非ス。然ルニ留學中得ル所ハ教室内ノ教育ニ過キスシテ、ツノ應用ト後ノ研究トカ留學者ノ實地的成績ヲ決スル標準ナルヲ以テ、此點ニ於テ日本留學出身者ハ夙カニ多大ノ利便ヲ有ス。コレツノ第二因ナリ。更ニ、日本ノ學語特ニ法律語ノ輸入ハ第三ノ因ニシテ、此點ハ日本留學出身者ニ取リテ、到底歐米留學者ノ企及レ得サル利器ノ一ニ屬ス。

由來日本ハ漢語ノ熟字ヲ襲用スト雖、時代ノ變遷ハ現代ノ清語ト同シカラス、又ハ字同クシテ意義ノ變遷セルアリ、加フルニ日本ニ於テ造ラレシ新語アリ。此點ニ於テ古文ノ修養比較的少ナキ多數ノ現代清國人ニ取リテハ、日本語ニ存スル漢語熟字ト雖直チニ理解ニ苦シムコト少カラス。然ルニ日本留學熱一時ニ勃興シテ多數ノ留學者ヲ出シタル結果ハ、日本熟字ノ逆輸入トナリ、一般ノ用語ニ於テモ著ク日本の熟語ノ混交ヲ見ルニ至レリ。一二ノ例ヲ舉グレハ、過キシ明治二十八年日本文部省カ清國留學生ヲ收容セル學校取締規則ヲ發布スルヤ、清國留學界ノ紛擾ヲ惹起シ、一時ハ大舉シテ歸國セントスルノ形勢ヲ示セシコトアリシカ、ツノ當時留學生等カ省令第十九號ノ取締規則ニ不平ヲ懷キシ理由ノ第一ハ取締ナル文字ニアリキ。ツハ清語ノ用例トシテ取締ナル語ハ學生ヲ奴婢又ハ囚人ト同一視シテ侮辱ヲ加ヘタリト云フニアリシナリ。然ルニ五年後ノ今日ニ於テハ、或ハ議場取締ト云ヒ、又ハ議員取締規則ト云フカ如キ文字ヲ公文書ニスラ見ルニ至レリ。又届出ト云ヒ、欠課届ト云フカ如キ文字ハ、何人モ怪ム所ナクシテ諸學堂ニ於テ採用セラレツ、アリ。コレ一二ノ例ニ過キサレトモ、以テ如何ニ日本語ノ移植カ盛ナルカヲ示スニ足レリ。加之清國カ新ニ制定シ又ハ制定セントシツ、アル新律ニ至テハ、主トシテ日本ノ學者ヲ顧問トシ、隨ウテ日本留學出身者トノ協力ニヨリテ起草セラレシ草案ニシテ、法律上ノ用語ハ大半日本現行法ノ文字ツノ儘ナリ。是ニ於テカ清國ノ新法令ノ解釋又ハ起草ニ預ルモノハ、一應日本ノ法律上ノ用語ニ曉通スルハ

第一ノ必要資格トナリヌ。コレ法律館又ハ憲政編纂館ノ中堅カ日本留學出身者ノ手ニ落テ、ソノ他ノ方面ニ於テモ法律ニ關係深キモノニ於テハ、日本留學者カ勢力ヲ占ムルニ至リシ主要ノ原因タリトス。モト法律館ニ職ヲ奉シ今ハ某部ノ主要ノ地位ヲ占ムル英國留學出身者ノ一人ハ、嘆シテ談ルラク、「予ヤ法學ノ知識ニ於テハ決シテ日本留學出身者諸君ニ劣レリトハ信セス、而カモ始メ法律館ニ在テ新法ノ制定ニ與ルヤ、歐米ノ法律語ヲ自國語ニ翻譯スルニ當リ、日本語ノ法律語ニ通セサルカ爲ニ、屢失敗ヲ重ネ、自ラ妥當ノ語ナリトシテ譯語ニ充ツレハ、既成ノ法典ノ用語ト相通セス、或ハ成語ヲ以テ譯ニ充ツレハ原語ト義ヲ異ニスルニ至リ、困難多クシテ功少カリシヲ以テ、今ノ官衙ニ轉任スルニ至レリ、ソレヨリ後ナホ此困難ノ少カラヌヲ以テ今ヤ日本法律ノ研究ニ最モ苦心シツ、アリト。此自白ハ以テ這般ノ消息ヲ示スニ足ルヘシト思ハル。

以上述ヘタル所ハ學部考試合格者程度ノ外國留學出身者、即チ專門學校以上ノ學業修了者ノ官界ニ於ケル成績ナルカ、此以外ニ於テハ、教育事業并ニ警務官ニ於テソノ實績ノ見ルヘキモノアリ。教育界ニ於テハ學部所管并ニ督府管轄内ノ官立學校以外、公立并ニ私立ノ各學堂ニ於テ、普通程度ノ新學ノ教鞭ヲ取ルモノ、大多數ハ留學界ノ出身者タリ。マタソノ教務ノ實際ニ當レルモノ亦多クハ然リ。外國教習ノ多クハ官立高等學堂及ヒソノ他ノ學堂ノ高等教育ノ一部ニ與ルニ過キス。教育

界ニ於テハ、各國留學出身者之ニ當レリト雖、數ニ於テ最モ多キハ又日本留學出身者タルコト、留學界自然ノ情形ヨリ來ル當然ノ結果ナリトス。

警務官ニ在テハ高等警察事務ニ當レル少數者ハ、學部考試合格程度ノ留學生出身ナレトモ、ソノ以下ノ小官ニ在テハ、多クハ日本ニ於テ謂ユル警務科ヲ修得セシ速成者甚タ多シ。日本留學者ノ多數ヲ占メタル速成科出身者ハ、一般ニ於テ甚タ好成績タリト云フヲ得スト雖、ヒトリ警務ノ小官ニ於テハ、成績以外ニ良好ナルモノアリ。蓋シ清國ノ警察行政ハ近時著ク面目ヲ改メタリト稱セラルレトモ、一般ヨリ云ヘハ今ニ於テナホ幼稚ナル状態ニアリ。ソノ状態ノ下ニ科長又ハ六品警官（我カ警視及ヒ警部又ハ巡查部長程度）以下ニ在ルモノ、多數ハ、法律ノ素養殆ントナク、新學ノ知識皆無ナルヲ普通トス。通常ノ巡警ニ至テハ文字ノ知識サヘ覺束ナキモノ多シ。我カ東京帝國大學出身ニシテ、現下北京內城巡警總廳々丞トシテ、名聲高キ章宗祥ノ邸ヲ訪問セシトキ、ソノ名ヲ紙片ニ書シテ道傍ノ巡警ニ問フニ、ソノ何人タリヤヲ知ラサリシモノ多カリシカ如キ、我國ニ於テハ見ルヲ得ヘカラサル一例ナリト雖、現下ノ清國ニ於テハ普通ノ事ナルカ如シ。サレハ、此等ノ間ニ伍スルニ及ンテ、我カ速成警務科ノ出身者カ、有爲ナル警務官トシテ比較的好成績ヲ收ムル所以ノモノノ怪ムヲ須井サルナリ。此事實ハ北京天津ノ如キ要地ニシテ、警察行政ノ實績ヤ、著キ地方ヨリハムシ

口偏陬ノ地及ヒ各省ノ地方部面ニ於テ一層著キ事實ナリト稱セラレ。其他一般ノ私人的事業ニ從事セルモノ、成績ニ就テハ、遂ニ大體ノ成績ヲ知ルノ便宜ヲ有セザリシカ故ニ、明カニ判スルヲ得スト雖、如上ノ實蹟ニ徴シテ必スヤ成績ノ見ルヘキモノアルヘシト思ハル。

### 三 各國留學者カソノ留學國ニ對スル感情

世上往々日本ニ於ケル清國留學生教育ノ無效ヲ説イテ、之カ論據トシテ、日本留學出身者ノ多クカ日本ニ對シテ反感ヲ懷クモノ多キヲ言フ。然レトモコレ非常ナル誤解ト誤リタル觀察トノ結論ニ過キサルカ如シ。多數ノ日本留學出身者中日本ニ對シテ反感ヲ有スルモノ固ヨリナキニ非ス。サレトコレ唯リ日本留學者ノミニアラスシテ、歐米留學者ノ中ニモソノ留學國ニ對シテ反感ヲ懷抱スルモノ決シテ少キニ非サルナリ。ソノ原因ヲ推究スルニ、コレ主トシテソノ留學國ノ國情ヲ解セサルコト及ヒソノ蒙リタル侮蔑ニ基ツク惡感ノ結果ナルカ如シ。若シソレツノ以外ノ反感ヲ持スルモノニ至テハ、政治上ノ關係ヨリ來リ、利害ヲ異ニセル清國人ノ立場トシテハ當然ノ理由ヲ有スルモノ多キナリトス。サレハ清國留學生教育ノ效果ト、留學畢業者カ留學國ニ對スル反感トノ關係ヲ

明カニセントセハ、コノ反感ノ由テ來ル所ヲ仔細ニ分類シテ研究スルヲ要ス。今北清ニ於テ親シク面接セル八十餘名ノ各國留學畢業者、并ニ這般事情ニ通シタリト信セラル、清國官民ノ重ナル人ノ感情及ヒ意見ニ徴シテコノ關係ヲ窺ハントス。

留學畢業者中ノ最大數ヲ占ムル日本留學出身者ニ就テハ、第一ニマダ速成留學者ト長期留學者トヲ區別シテ考察セサル可カラス。速成留學者ノミニ就テ云ヘハ謂ユル排日的反感ヲ有スルモノムシロ多キニ似タリ。ソノ理由ハ

- 一 日本ニ於テ受ケタル一種ノ侮蔑ト虐待トニ對スル反感ヨリ來ルモノ
- 二 日本ノ國情ヲ解セスシテ慢然之ヲ批難スルモノ
- 三 速成的修業ノ效果少クシテ、以テ立身ノ便ヲ得ルニ足ラサル爲メ、餘憤ヲ日本ノ教育ノ無責任ニ歸スルモノ

四 明治三十八年文部省令第十九號ニ反抗シテ、學業ヲ抛テ歸國セル未成業者ノ反感ニ本ツク

等ヲ主タルモノトス。就中第一及ヒ第二ハソノ多キニ居ル。此二種ノ反日本の感情ニ關シテハ、日本國民及ヒ日本教育家ノ責任ソノ多キニ居ル。蓋シ留東學生ノ遠ク笈ヲ負ウテ來東スルヤ、未タ日

本語ノ智識少ナク、隨ウテ日本ノ事情ニ通セス、街上ニ在テハチャン／＼ヲ以テ輕侮セラレ、無智ナル人民又ハ兒童輩ニ嘲笑セラレ、營利一逼ノ下宿業者ハ彼等ノ事情ニ暗キニ乘シテ暴利ヲ貪ホリ、甚シキハ賤業婦ノ輩ヲ利用シテ彼等ヲ陷レントス。彼等カ反感ヲ以テ日本ニ對スルモノ理由ナキニ非ス。又謂ユル清人教育ヲ標榜スルモノ、中、眼中營利ノ外一點ナク、彼等ノ財ヲ奪フヲ目的トシテ教育ヲシキ教育ヲ與ヘス、甚シキハ一ヶ月乃至三ヶ月ニシテ高等ノ學術ヲ授クト爲シ、不完全ノ教育ヲ施シテ名目ヲ塞クニ過キサルモノ甚タ多カリキ。ツノ卒業生ナルモノカ歸國以後ツノ學習セル所ニ依テ何等ノ效果ヲ收メ得サルハ當然ノミ。ツノ餘憤カ反日本感ヲ醸成シタルモノ亦ユエアリ。第四ノ原因ニ基ツク排日感情ハ、ツノ責、學政當事者ノ事情ニ迂ナリシニ歸セスンハアラス。蓋シ當時日本ニ留學セシ約一萬ノ留學生及ヒ遊歷官中、恰カモ我カ明治ノ初期ニ於ケル自由民權說ノ勃興ノ如ク、新學習得ノ結果トシテ極端ニ新學說ニ奔リ、稍危險ナル學說又ハ革命說ヲ唱ヘンモノ少シトセス。或ハ地位獲得ノ滑手段トシテ矯激ノ說ヲ爲シ、モノ亦少カラス。是ニ於テカ張宮保ヲ始トシテ清國ノ大官中、辭ヲ彼等習學ノ實際ヲ舉ケシメン爲メニ借リテ、此等危險ナル言說ヲ爲スモノヲ排セントシ、我カ外務省ヲ通シテ文部省ヲシテ、二十八年中、第十九號令ヲ發布セシメ、日本ノ學堂ニ入ルモノハ必ス公使館ノ紹介書ヲ要スト定メシメキ。然ルニ清國公使館ニ於ケル監督處

ノ吏員中、コノ權限ヲ利用シ、己ニ快カラサルモノ、又ハ贈遺ノ少キモノヲハ、革命黨ノ名ノ下ニツノ就學ヲ妨クルノ劣手段ニ出テシメシコト決シテ鮮少ニ非ス。之ニ反シテ高官ノ因縁アルモノヲハ、資格ナキニ妄リニ高等學府ニ咨送セシ例甚タ多カリキ。(此ニ關シテハ明治二十九年冬、公使館ト日本諸學堂トノ聯合ナル教育協議會ニ於テ嘉納寺尾諸氏ヨリ、實例ヲ具シテ公使館ニ詰問スル所アリキ。)這般ノ處置ハ氣慨アル清國ノ留學生ヲ怒ラシメ、連袂歸國シ、上海ニ於テ約三千ヲ收容セル私學ヲ起サシメシコトアリ。此等不平ノ歸國者及ヒツノ感化ヲ受ケシモノハ即チ第四ノ排日感ヲ惹起セシ輩ナリシナリ。第二類ノ排日者流ニ至テハ、數ニ於テ第二位ニアレトモ、固ヨリ根柢ナキ排日感情ニシテ、何レノ社會ニ於テモ亦免カレ難キ所ナリトス。

此等ノ誤解又ハ不平ヨリ來レル排日感情ハ、主トシテ速成留東學生又ハ畢竟セスシテ歸國セル學生及ヒツノ感化ニ本ツクモノ、間ニ存スルノミニシテ、前キニ述タル留東畢業學生コトニ考試ニ登第シ、比較的有力ノ地位ニアルモノ、間ニハ、全體トシテ云ハ、排日感情ト名ツクヘキモノ殆ント認メ得ヘカラス。サレト日清兩國カ國際的對立ノ兩國家トシテ國ヲ建ツルカ故ニ、彼我利權ノ衝突ハ固ヨリ多少免カレサル所ナリ。カ、ル國家的對立ノ結果トシテ、我カ政策ニ反對ナルカ故ニ、清國官吏ノ立場トシテ、我ニ反抗シ又ハ我ニ近ツカサルモノ、存スルハ論ヲ俟タス。シカモ仔細ニ論ス

レハ此等ノ排日感情ヲ有スト稱セラル、モノ、内、自ラ二様ノ別アリ

一 自發的ニ排日感情ヲ有スルモノ、即チ眞ノ排日派

二 排日派ヲ裝フモノ、即チ敬遠主義ノ徒

コレナリ。第一類ノ排日者流ノ中、更ニ或ハ親米主義ヲ取り、又ハ親獨派ニ傾キ、ツノ結果排日派トナレルモノト、日本ノ政策カ中國ニ害アリト信シテ日本ヲ排セントスルモノトノ二アリ。前者ノ背後ニハ某々國及ヒツノ國民ノ煽動カ伏在スルモノ多シ。後者ノ多數亦此等ノ流言ニ惑ヘル結果ニ出テタル形蹟ノ歷々トシテ徴スヘキモノアリ。後者ノ排日感ノ根柢ヲ爲スモノ種々アレトモ、特ニ日本カ東三省ノ永久占領ヲ爲スノ意アリト認メ、若クハ然リト指囑セラレタルニヨルモノ多キカ如シ。現ニ昨冬ノ資政院ニ於テ三島(日本)東三省ニ異圖アリト云フカ如キ口吻ヲ漏セシモノ少カラス。彼等ヲシテカク認メシムルニ至リレ近因ハ、再昨年ノ議會ニ於ケル滿韓移民集中案ノ宣明ニアリ。コレヲ某大官ノ幕僚タル年少ノ官吏ニ聞ク。再昨年ノ議會ニ於テ日本政府カ滿韓移民集中ヲ口ニスルヤ、某々國人中頻リニ日本カ東三省ノ永久占領ヲ決意セシモノナリト告グルモノ少カラス。清國當路ノ有司中此說ニ耳ヲ傾クルモノ次第ニ多ク、昨年四月某尙書カ各國留學畢業ノ少壯官吏十數名ニ對シ、謂ユル滿韓集中策ノ眞意如何ニ就テ意見ヲ求ムルヤ、日本留學ノ民政部及ヒ外務

部ノ二官吏ノ外、ツノ答ハ揆ヲ一ニシタリ。曰ク之ヲ古今東西ノ歴史ニ徴シ、又之ヲ學理ニ訴フルニ、勞働價高キ邦土ヨリツノ廉ナル地ニ勞働移民ヲ出スノ理ナク又先例ナシ。適マコレアルハ即チ經略的植民ノミ。想フニ日本ノ政策ハ滿洲ノ永久占奪ニアラント。此事アリテ後半歲ナラサルニ日韓併合ハ行ハレ、日露協商ハ成レリ。是ニ於テ彼等ノ此信念ハ牢トシテ拔クヘカラサルニ至リ、當路ノ大官中此說ヲ信セサルモノハ二三ニ過キス。是ニ於テカ親日ヲ説カサルマテモ日本ニ接近スルモノハ常ニ猜忌ノ眼ヲ以テ看ラル、ニ至リ、コ、ニ第二ノ排日ヲ裝フモノ即チ敬遠主義ヲ取ルモノヲ簇生セシメタリシナリ。一例ヲ云ハ、數年來日本留學畢業者ノ重ナルモノヲ我カ公使館ニ招待セシコト稀ナラス。然ルニ去歲以來我カ公館ニ出入スルモノニ對シ密偵ヲ附ストノ噂カ傳ハリシ爲メ、公務以外モシクハ外交官ノ禮式的交際以外、我カ公館ニ出入スルモノ殆ント跡ヲ絶ツニ至リシカ如キハ、明ニツノ結果タラスンハアラス。而シテ予ノ調査セル所ニヨレハ、謂ユル排日ノ徒ノ大多數ハ此敬遠派ニ屬スルカ如シ。少クトモ、北京天津等ニ於ケル留東畢業ノ官吏又ハ一度日本ニ駐在セシ清官ノ多數ハ、此敬遠派又ハ故ラニ排日派ニ媚フルモノニ屬スルコトハ之ヲ斷言シテ憚ラサル所ナリトス。

此他ナホ排日派ナラスシテ日本人ヨリハ排者ノ徒ナリト見做サル、モノ少カラス。ツノ原因ハ種



種アレトモ、特ニ謂ユル實學即チ理工科ノ學ヲ修得セシ留東畢業者中ニ此類少カラス。ソノ一例ヲ言ハシ。現ニ北京ニアリテ理工科ニ關スル學堂ノ長タルモノ、一人ハ、邦人ヨリシテ排日者流ト見做サル、人ナルカ、此人自ラ辯シテ曰ク、「予ハ日本ニアリテ高等ノ教育ヲ受ケ、幸ニ今ノ地位ヲ得シモノ、豈ニ教養ノ誼ヲ忘レンヤ。然ルニ今ヤ此學堂ニ長トシテ日本人ノ教習ヲ採用スルノ議ヲ排セシ爲メ、日本人ヨリハ排日ノ忘恩者ナリト目セラルト聞ク。コレ予ノ平カナラサル所ナリ。抑モ予カ教ヲ大學ニ受クルヤ、教習諸博士ハ専門ノ學語ニシテ、日譯アルモノト雖多クハ歐語ヲ用ヒテ日譯ヲ採ラス、且ツ機械、工場等ノ説明ニ於テモ、歐米ノ大工場ヲ親シク視察スルニ非スシハ、日本ニ在テハ完キヲ期シ難シト教フ。加之用フル所ハ悉ク獨英ノ書ナリ。コレ日本ノ學術大ニ進歩スト雖、理工科ノ實學ニ於テハ未ダ歐米先進國ニ及ハサルコト遠キヲ證スルニ非スシテ何ツヤ。今ヤ予任ニ學堂ノ長ニ任シ、自國ノ爲メニ工藝ノ發達ヲ企劃ス。ソノ教習ヲ聘スル、之ヲ日ニ取ランカ、歐米ニ取ランカ、單ニ少額ノ經費ノ外ニハ、後者ヲ便トスルコト固ヨリソノ所ナリ。コレ予カ日本ノ教習ヲ聘スルニ躊躇スル所以ナリ。コレカ爲ニ予ヲ以テ排日ノ徒ト爲スニ至テハ、予ハソノ冤ヲ訴ヘスシハ非ス」。由來清國ノ人辭禮ニ巧ナリト雖、此人ノ此言必スシモ辭禮トノミ見ルヘキニ非サルナリ。謂ユル排日派ト見ラル、モノ、中、此類ノ徒亦決シテ少カラサルカ如シ。

#### 四 歐米宣教師ノ教育事業

歐米ノ宣教師カツノ布教ノ手段トシテ清人ノ教育又ハ病院等ノ事業ニ指ヲ染メシハ古クヨリノ事ニテ、特ニ上海方面及ヒ京津地方ニ於テハ多數ノ小ナル學堂病院教會ヲ有ス。サレト彼等宣教師ノ多數、特ニ米ノ宣教師中ニハ、宗教ノ傳道ハムシロ第二ニシテ、他ニ政治上外交上ノ意味ヲ以テ清人ノ間ニ勢力ヲ扶植シ、清國ノ國狀ヲ探ラントスルモノ多ク、爲メニソノ表面ノ事業ハ不振ノ状態ニアルモノ少カラス。今京津地方ニ於テ歐米宣教師又ハ歐米人ノ經營セル教育機關ヲ見ルニ、ヤ、成績ノ見ルニ足ルヘキモノ左ノ如シ。

一 天津ニ於テハ

成美學館

(在英租界大沽路)

米國教會所屬

新學書院

(在佛租界大沽路)

同上

○德華中學堂

(同前)

獨國有志設立

法漢學堂

(在佛租界三叉河口)

佛國天主教會所屬

一一 北京及ヒ附近ニ於テハ

滙文大學堂 (在崇文門內)

米國メソヂスト、エビスコーバル所屬

協和醫學堂 (在東單牌樓大街)

北清教育協會所屬

協和女學堂 (在燈市口)

同前

協和大道學堂 (在安定門內)

同前

協和博學館 (在北京城東通州)

同前

法文學堂 (在西安門內)

佛國天主教會附屬

法文高等學堂 (在順治門內)

同前

法漢學堂 (在崇文門內)

同前

○德華學堂 (在城北王佐兒胡同)

獨國有志設立

○俄文學堂 (在東單牌樓總布胡同)

東清鐵道會社設立

○印ヲ附セルモノハ傳道協會ニ屬セサルモノトス。此外天津ニハ天津高等學堂及ヒ共立小學

堂アリ。日本人ノ經營ニカ、リ、天津日本租界ニ住スル清國人ノ子弟ニ日本語及ヒ普通學ヲ授

クルヲ目的トシ、清國人有志者ノ義捐金ト日本租界局トノ補助金トニヨリテ支持セラル。

此中天津ニアルモノハ成美、新學二學堂最ノ外ハ殆ント云フニ足ラス。此二者スラモ學生數二百內

外ヲ有スルノミ。其程度ハ小學ト中學トノ間ニアリテ、主トシテ普通教育ノ機關ニシテ、基督教ノ主義ヲ經トスレトモ、ソノ傳道的效果ハ決シテ著シト云フヘカラス。教育上ノ成果ニ於テモ日本人經營ノ兩學堂ノ方却テ優レリト稱セラル。

北京ニ於ケル前記諸學堂中、終リノ三者ヲ除キ、他ハ凡テ高等教育機關ニシテ、生徒數ハ多カラスト雖、設備及ヒ教科等頗ル見ルヘキモノアリ。今序ヲ追ウテ略説セム。

滙文大學堂ハ外國人ノ設立セル諸學堂中最モ古キ歴史ヲ有シ、同治十年(明治四年)メソヂスト教會カ北京崇文門內ニ蒙養學堂ヲ設立セシニ起源ス。始メハ小學程度ニ過キサリシカ、十四年後、光緒十一年(明治十八年)中學及ヒ高等學堂ヲ設立シ、翌年又々醫學館ヲ増設シ、光緒十四年ニ至リ更ニ規模ヲ擴張シテ京都滙文書院ト名ケ印字館ヲ附設シ、光緒十七年成美學館ヲ併合シ、光緒十九年校舍ヲ増設シ愈々盛大トナリシカ、光緒二十六年(明治二十三年)團匪ノ亂ニ逢ヒ、校舍ヲ燒毀セラルルノ非運ニ陥レリ。然レトモ亂定マルニ及ヒ時ノ米國公使及ヒ總稅務使ロバート、ハート氏ノ援助ニ依リテ、崇文門內ニ二十萬坪ノ廣大ナル土地ノ永久無料使用權ヲ獲得シ、米國政府及ヒメソヂスト協會本部ノ補助ヲ得テ再ヒ校舍ヲ建テ、四年ノ後光緒三十年十月從來ノ校舍ノ外、大中學部本科校舎ノ外、附屬館ヲ増設シ、名ヲ京都滙文大學堂ト改メ、今ヤ崇文門內船板胡同ノ本校舎ノ外、大石橋

北ニ中學及ヒ高等小學ヲ附設シ、北京以外ニ於テモ天津、遵化、灤州、泰安、山海關等ノ各地ニ附屬ノ成美學館ヲ設立シ、ソノ設備殆ント間然スル所ナク、北清ニ於ケル外人設立ノ學校中最モ完備セ  
ルモノナリト稱セラル、ニ至レリ。

滙文大學堂ハ左ノ各部ニ分タル

- 一 蒙學館(幼稚部) 修業年限四ヶ年
- 二 成美學館(小學部) 同前
- 三 備學館(中學部) 同前
- 四 博學館(專門部即チ大學部) 同前
- 五 偉烈道學館(神學部) 修業年限三ヶ年
- 六 協和醫學堂(他ノ教會ト聯合ノ學校) 修業年限五ヶ年

此中第一ヨリ第四ニ至ル四部ハ大學教育ノ完成マテ連續一貫セル學制ナルカ、幼稚部小學部及ヒ  
專科生ハ信教自由ナレトモ、中學部及ヒ大學部ノ學生ニハ必ス洗禮ヲ受ケシメ、毎日禮拜堂ニ於テ  
基督ノ聖像ニ禮拜セシム。教師ハ米國宣教師十四名清國人十一名ニシテ、現在ニ於テ約四百五十名  
ノ學生ヲ有シ、附屬女學堂ニハ八人ノ外國人五人ノ支那人ノ女教師ノ下ニ二百五十名ノ女生ヲ收

容ス。經費年額約十五萬元ニシテ、外ニ授業料(幼稚部及ヒ小學部年額三十元、中學及ヒ大學部年額  
六十元、專門部年額五十六元)ヨリ來ル收入モ亦經費ニ充テラル。

學科教程ニ於テハ蒙學館ハ稍ヤ我カ舊尋常小學ニ伯仲シ、修身ニ代フルニ基督教ノ教旨ヲ以テシ、  
圖畫音樂及ヒ數學ヲ課セサル所ハ、ソノ相異點ノ著キモノナリ。成美學館ハ高等小學トモ見ルヘク、  
三學年以上英語ヲ每週五時間以上授クル所ハ我カ學制ニ異レリ。備學館ハ即チ中學ニシテ略ホ我  
カ中學ニ教程ヲ同シウスレトモ、博物學及ヒ生理衛生等ハソノ教科中ニ存セス。成美學館及ヒ備學  
館ニ於テモ、修身科ハ基督教ノ教旨ヲ以テ之ニ充ツルコト蒙學館ニ同シク、中學生ハ洗禮ヲ強制セ  
ラル。博學館即チ大學部ト稱セラル、モノハ、事實上總合專門學校トモ稱スヘキモノニシテ、教程  
ハ到底我カ大學ニ比スヘクモアラス。ナホ詳カニ云ハ、法文科專門學校ニ多少ノ理科ヲ加味セリ  
ト云フヲ適當トスヘシ。其學科目左ノ如シ

- 一 數 學 (Algebra; Trigonometry; College Algebra; Analytical Geometry; Calculus; Surveying  
& Navigation)
- 一 天文學 (Astronomy & Celestial Mechanics)
- 一 植物學 (Botany & Bacteriology)

- 一、動物學 (Zoology)
- 一、物理學 (Physics; Electrical Measurements; Theory of Heat; Light & Electricity; Analytical Mechanics)
- 一、化學 (General Chemistry; Organic Chemistry; Qualitative Analysis; Quantitative Analysis)
- 一、生理學 (Physiology; Anatomy; Hygiene)
- 一、地理學 (Physical Geography; Geology; Economic Geology)
- 一、聖教學 (Biblical Literatures)
- 一、漢文學 (文理論、翻譯、古文、諸子學)
- 一、英文學 (修辭學、文法及ヒ文學)
- 一、歷史 (中外各國史、法制史、殖民史、制度史、外交史)
- 一、公法學 (國際公法、條約)
- 一、羅甸語 (文法、古文)
- 一、教育學 (教育原理、教育史、教授法、教育制度)
- 一、哲學 (心理學、論理學、哲學史、倫理學)

一、經濟學 (財政學、租稅論、社會學、經濟學)  
 此中四學年中、必修課目トシテ漢文、英語、植物、數學、歷史、理化、哲學、經濟、公法ノ諸科ヲ課シ、他ハ各人ノ選擇ニヨリテ每學年四五科目ヲ修メシム。

偉烈道學館ハ滙文學堂ニ功蹟アリシ井レー (Wiley) 氏ノ紀念ノ爲ニ設ケタル神學校ニシテ協和醫學堂ハ北清教育協和會ノ共同事業ニシテ、滙文學堂ノ獨有ニ非ス。此二者ノ事ハ後ニ述フ可シ。滙文大學堂設立以後ニ於ケル畢業者ノ數ハ、光緒十八年第一回卒業以來合シテ五十六名、內學士號ヲ許サレシモノ二名アリ。學士號ハ大學卒業後專門三學科ヲ選ミ正科一、副科二トシテ更ニ專攻シ、考試ノ結果優等ノ成績ヲ得タルモノニ授クル所トス。現在々學ノ博學館學生ハ四十八名ナリ。學科ノ程度ハ我カ大學ニ比スヘカラスト雖、校舎ノ設備ト云ヒ教授ト云ヒ、頗ル完備セルニ拘ラス、學生ノ數甚タ少キヲ見レハ、清國人ニ對スルツノ傳道的效果ハ決シテ多大ノ望アリト云フ可カラス。且ツ畢業者ノ多クハ醫師ニ非スンハ傳道者ニシテ、他ノ官界ニ地位ヲ有スルモノ少キ事實ハ、ツノ學生ノ多カラサル理由ヲ説明スル所ナキニ非ス。又一般ヨリ云ヘハ清國人ノ基督教徒ニ對スルコト、感情上甚タ宜シカラサル、舊習ヲ伴フカ爲メニ此ノ如キ結果ヲ呈スルモノナリト認メラル。之ヲ同大學ノ卒業生二三ニ就テ質スニ、傳道以外ニ於テ彼等ハ殆ント社會的地位ノ優位ヲ得ル望甚タ少

キヲ説ケリ。コレ學堂經營者ノ爲ニ遺憾トスル所ナリ。

北清ニ於ケル外國傳教者ノ教育事業ヲ見ントセハ、前陳滙文大學堂并ニ北清教育協和會ヲ知ルヲ要ス。協會ハアメリカン・ボード、アメリカン・プレスビテリアン、及ヒロンドン・ミッションノ三傳道協會ニヨリテ始メテ形チツクラレタル聯合ニシテ、後ニアメリカン・メソヂスト・エピスコopal・ミッションノ北京大學即チ滙文大學堂ノコレニ加入シタルモノナリ。北清ニ於ケル傳道會ノ事業ハ團匪ノ亂ニヨリテ大打撃ヲ受ケタルカ爲メニ、ツノ翌年即チ西曆千九百一一年ナホ北京ニ殘レリシ三四ノ傳道教會ハ教育事業ノ上ニ相聯合シテツノ完備ヲ期セントシテ協議ヲ重ネ、爾來多少行キナヤミアリシモ、千九百四年ニ至リ始メテツノ聯合ハ成立シタリ。協和會所屬ノ學堂ハ四ツアリ。イツレモ協和ノ二字ヲ冠ス。前ニ列記セシ協和ノ四學堂コレナリ。協和博學館ハ通州ニアリテ、アメリカン・ボード・ミッションノ設立ニカ、リ、其經費及ヒ設備ハ同教會ノ負擔タリ。協和醫學堂ハロンドン・ミッションニ屬シ、協和大道學堂ハアメリカン・プレスビテリアン教會ニ屬シ、協和女學堂ハアメリカン・ボード教會ニ屬シ、共ニ北京ニアリテ、經費及ヒ設備ハ各ツノ所屬スル傳道教會ニヨリテ支給セラル。アメリカン・メソヂスト・エピスコopal教會ノ滙文大學堂ハ後ニ此北清教育協和會ニ加入シタレト、金錢上之ニ支出スル所アラス。唯協和醫學堂ニ於ケル醫學教育上ニ於テ他ノ三教會ト連

合シ、其經理委員八名中ノ二名ヲ推舉シ、協和會ノ管理者中ニ六名ヲ其關係者中ヨリ推舉シ得ル特權ヲ有スルノミ。此ノ四派協同ノ學堂ハ英國ナル北清教會ノ諸教會并ニロンドン醫學宣傳會ノ有力ナル後援ヲ有ス。

協和博學館ハ北京城東十五哩ノ地タル通州ニアリ。千八百六十七年(明治元年)ニチャピン(Rev. J. D. Chapin)ニヨリテ創設セラレシ小塾舍ヨリ發展セシモノニシテ、アメリカン・ボード教會ニ屬シ、後ニ初等、中等及ヒ専門ノ各部ヲ設ケ、又神學部ヲ置キシカ、北清教育協和會ノ成ルニ及ヒ神學部ハ北京ニ移サレ、今ハ博學館(Union College of Liberal Arts)ノニ此處ニ存ス。校規ハ協和會ノ議定セル劃一ノ規則ニヨリテ保タル。博學館ハアカデミートカレッヂトノ二部ニ分タレ、共ニ修業年限ハ四ヶ年トス。教科ハアカデミーニ於テハ、聖教ノ研究ヲ經トシ、習字、數學(算術、代數、幾何)、地理、英語、支那史、地理、地文、及ヒ簡易ナル理化學博物學ヲ授ケ、カレッヂニ於テハ、基督教義、神學、高等數學、地質、物理、化學、動物、植物、生物、天文、英語、古文學、經書ト聖書トノ比較研究、政治經濟等ノ學ヲ授ク。學生ハ嚴重ナル基督教ノ教旨ニ服従スルヲ要シ、館長シェフィールド氏外十六名ノ英米宣教師ニヨリテ教授セラレ、又タ監督セラル。現在ノ學生數五十四名ナリ。之ヲ滙文大學堂ノ博學館ニ比較スルニ、學生數ニ於テ十名ノ多數ナレトモ、教科及ヒ教程ニ於テハ稍ヤ低シトス。學費舍費合シテ八弗

トス。

協和醫學堂ハ東單牌樓大街ニアリ、高莊ナル建設物ヲ有シ、ロンドン・ミッシェンナリーニ依テ維持經營セラル。但シ其監理等ニ就テハ協和會ノ規約ニ基ツキ聯合四教會ヨリ選出セル委員ニヨリテ評議セラル。千九百六年ノ開校ニシテ協和會成立後ノ創設ニカ、ル。ツノ創立者ニシテ英國傳道會者中最初ノ醫學宣傳者タルロックハート氏ノ功ヲ紀念セン爲メ協和ロックハート醫學堂(Union Lockhart Medical College)ト呼ハル。校舍建築費二十五萬弗、經常費ハ五萬弗乃至七萬弗。教授ハ正副二十餘名ノ教習ニ由リテ爲サレ、其多クハエヂンバラ大學出身ニシテ大抵學位ヲ有ス。試験ハ清國學部官吏、學堂長、各科擔任教習、及ヒ各國公使館附醫官ヨリ成ル委員ニ依テ行ハル。修業年限五ヶ年ニシテ、現二十七十六名ノ學生ヲ有ス。教科ノ種類及ヒ程度ハ我カ醫學專門學校ト略ホ相同シ。學額月額五弗トス。學課以外ニ體育及ヒ聖教ノ主旨ヲ授ク。

協和大道學堂ハモトアメリカン・ボードミッシェンニ屬シテ、通州ニアリシカ、協和會ノ成ルニ及ヒ北京ニ移リ、アメリカン・プレスビテリアン教會ノ經營ニ歸スルニ至リシモノナリ。通州ニアリシ頃既ニ六十五人ノ畢業生ヲ出シ、彼等ハ清國ノ各地ニ於テ布教ニ從事セツ、アリ。初メハチャピン氏學堂長メリシカ、後ニ數人ノ交迭ヲ經テ、十五年以前ヨリグードリック氏(Rev. Dr. C. Goodrich)ハ

レカ學堂長タリ。嘗テゴルドン將軍ヨリ多額ノ寄捨ヲ受ケシ爲メ、ツノ名ヲ紀念トシテゴルドン紀念神學館トモ稱セラレキ。千九百五年北京ニ移リ新校舍ニ授業ヲ始ムルニ至レリ。教習ハ學堂長ノ外七名ノ英米人ヨリ成リ、純然基督教宣傳ノ使命ニ任スヘキモノ、養成ヲ目的トシ、正科及ヒ別科ヲ置キ修業年限各三ヶ年ニシテ、聖教ノ旨趣、神學ヲ教科ノ主腦トシ、傍ラ英文學、地理、生理、天文、說教術、及ヒ心理學、論理學等ヲ授ク。之ヲ滙文大學堂ノ偉烈道學館ニ比較スルニ、教科ノ主腦ニ於テハ大同ナレトモ、道學館カ實際問題ニ接觸スルニカメ、參考科トシテ支那ノ經書及ヒ佛教ヲ併セ教ヘ、中國ノ佛典ヲ尊重スヘシト説イテ成ルヘク基督教ヲ支那化セシメントスル進取の方針ヲ取ルニ反シテ、大道學堂ハヤ、保守的ニシテ退嬰ノ感ナキニ非ス。恰カモ日本基督教會ノ進取的同化策ヲ取ルニ反シテ其他ノ教會カ同化性ノ少キト相似タリ。學生數ニ於テハ道學館ノ現在學生十五名ニ對シ、大道學堂ハ現在二十六名ヲ有セリト雖、布教ノ效果ニ於テハ道學館ノ卒業布教者ニ及ハサルヘシト稱セラル。但シツノ卒業者ノ信仰ノ強弱ト業徳トニ於テハ大道學堂ノ畢業者ノ方優レルヤニ聞ク。

協和女學堂ハアメリカン・ボード教會ニ屬シ、千九百四年二月ヲ以テ設立セラレシモノナレトモ、協和會ノ監理委員カ年度總會ヲ開キテ學堂長及ヒ經理委員ヲ指定シ、カレッヂノ教科ヲ決定シテ

事實上開校セシハ其翌年ノ年ナリ。經費年額二萬弗以上ニシテ、堂長マイナー(Miss Inella Miner)嬢以下五名ノ米國婦人ト三名ノ支那人助教習トニ依テ教授セラレ、學生ニハ強制的ニ基督教ヲ信奉セシメ、カレッジ及ヒアカデミー(Bridgman Academy)ノ各四ヶ年修業班ト、ソノ豫備門タル二ヶ年教程タル幼稚舎トヲ設ケ、北京ノ本部ノ外各地ニ附屬學堂ヲ設ケ、カレッジニテハ數學、理化、天文、博物、歷史、經濟、國際法、心理、倫理、神學、比較宗教、支那古文及ヒ基督教義ヲ授ケ、アカデミーニテハ數學、理化、歷史、支那古文及ヒ基督教義ヲ授ケ、前者ハ我カ高等女學校ヨリ稍程度高クシテ、女子大學ノ本科ニ伯仲シ、後者ハ四學年程度ノ高等女學校ニモ比スヘシ。本科生<sup>カレッジ</sup>十四名其他合シテ一百二十餘名ノ生徒ヲ有ス。此學堂ニ於テハ師弟ノ關係極メテ親密好良ニシテ、布教的效果ハ他ニ例ヲ見サル程好結果ヲ呈シ、成績ノ頗ル見ルヘキモノアリト稱セラル。蓋シ清國婦人ノ舊慣上ノ束縛ニ對スル基督教の自由主義カ深ク新代清國婦人ノ心ニ切實ナル慰藉ヲ與フルモノアルト、清國ノ婦人ニ於テ比較的宗教心ノ深キト、マイナー嬢以下ノ清國ニ永ク居住シツノ慣習ニ通シ、清語ヲ能クシ、支那ノ古典ヲスラ教授シ得ル學力アルニ加ヘテ、懇切ナル教授ヲ通シ、コノ人格及感化カ此效果ヲ齎ラセシモノトモ見ルヘシ。

以上ノ滙文大學堂及ヒ四ヶノ協和學堂ニ次クモノハ法文學堂ニシテ、佛國ラバル聖母昆弟會員ノ設立ニカ、リ、千九百一年ヨリ獨立ノ學堂トナリシモノナリ。天主教ノ監理ニ屬シ、光緒三十四年(明治四十一年)ニ至リ順治門内ニ分校ヲ新設シテ高等學堂ト名ツケ、生徒數兩校ヲ合シテ二百名以上ヲ有シ、小學四年、中學三年、大學二年ノ修業ニシテ、生徒ハ凡テ寄宿セシメ、基督教ヲ奉セシム。約二十名ノ佛人ト三名ノ支那人トニヨリ教授經營セラル。教科ノ程度ハ滙文大學ノ博學館ヨリ低ク、通州ノ博學館ト教程及ヒ教科目ニ於テ兄弟ノ間ニアリ。

其他ノ三學堂ニ至テハ程度モ前記諸學堂ヨリ低ク、且ツ布教ノ目的必シモ主タラス、唯法漢學堂ハ法文學堂ト同一ノ基礎ニ立ツノ外、傳教上ノ效果特ニ詳述ヲ值スルニ足ラサルカ如シ。

要スルニ北清ニ於ケル歐米宣教使ノ教育事業ハ、設備ノ頗ル完キニ拘ラス、生徒數ニ於テモ少ク、布教者ノ養成ヲ專務トセル道學館及ヒ大道學堂ノ外ハ、ソノ卒業者カ如何ハカリ基督教ノ爲ニ有力ニ活動スルカハ、殆ント疑問ナリ。タ、協和女學堂ノ清國婦人ニ與フル教育的效果ハ將來頗ル注目ヲ要スル所ナリトス。布教専門以外ノ外人宣教師ノ學校ニ學生ノ少キハ、先キニモ述ヘタルカ如ク、基督ニ對スル一般國民ノ偏見ナホ除去セラレサルコト、及ヒ卒業上社會的ニ好地位ヲ得ヘキ希望ノ少キニ基因スト斷スルモ恐クハ過言ニアラシ。タ、此等布教徒ノ學堂ヲ出タル青年中有爲ノ士亦尠カラス、今ナホ勢力少ケレトモ將來清國ノ舊慣陋習等ノ社會改善ノ上ニ此等ノ青年ノ努力ヲ見

ルノ日アルヘキハ期待シ得ル所ナルヘシ。

明治四十四年六月二十二日印刷  
明治四十四年六月二十三日發行

發行者 拓殖局  
印刷者 印刷局

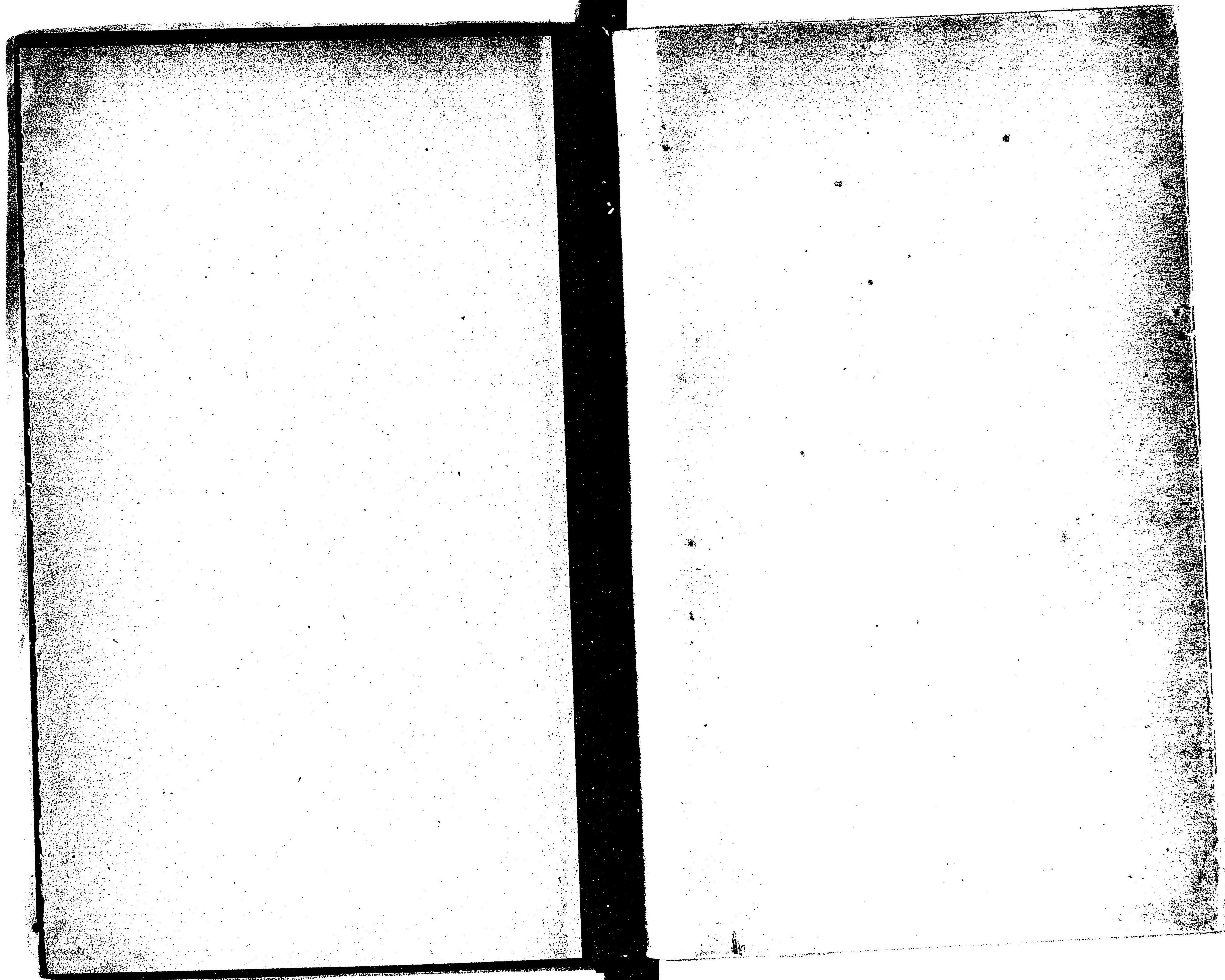


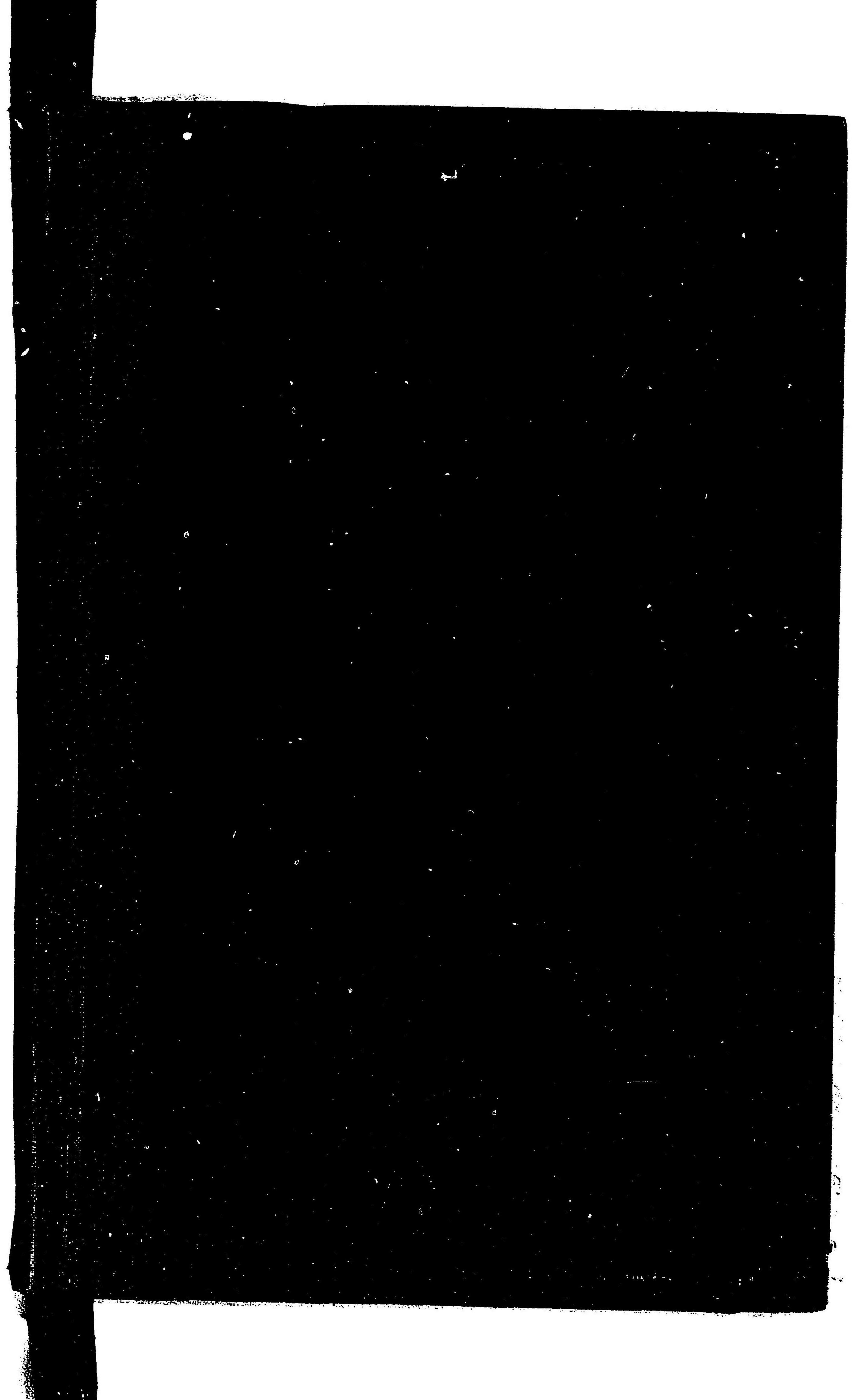
GAMONDO-HOTEN  
南堂書局

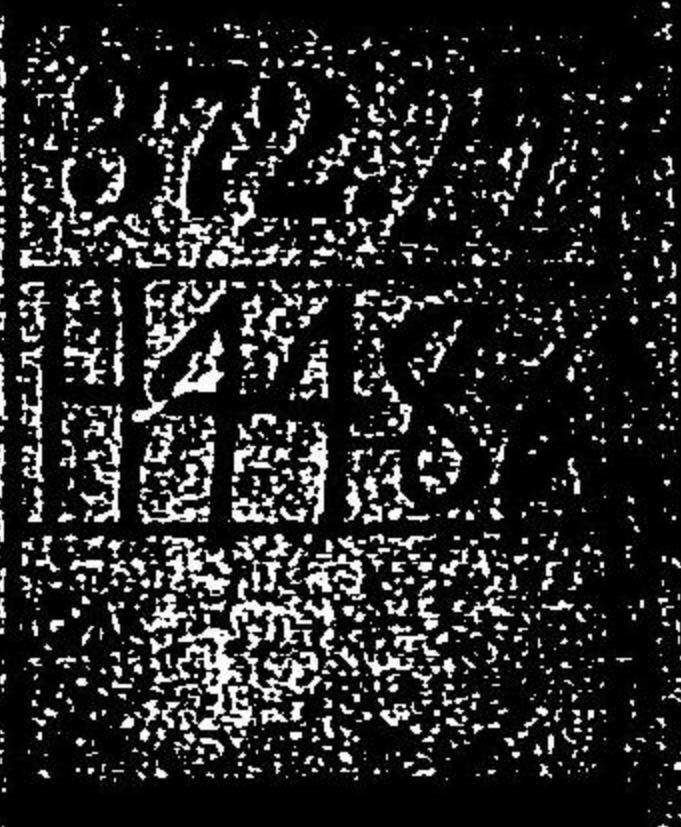
NO.  
¥ 80

南堂書局  
發行

南堂書局  
發行







050799-000-0

372.22-H448h

北清ニ於ケル諸外国ノ教育上ノ効果ニ関スル調査

樋口 秀雄 / 著

M44

BEA-1204



372.22

H4486